

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	受け入れ態勢整備事業		所管課 【2】 商工観光課	
			評価者(担当者) 和田 耕一	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		重点 施策【4】
	主要施策(節)	(5)観光の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(4)観光資源の魅力創出		□ 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】			
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 7 項 1 目 4 細目 5			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、市民、観光関係団体、行政が一体となって受け入れ態勢の整備を行う必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民及び観光客
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	観光客の利便性を高めることにより、リピーターの増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	玉名を訪れる観光客を受け入れるために、案内板の適宜設置、観光ガイドの発掘育成や各観光関連事業所スタッフの接遇及びおもてなし力向上を図るために、玉名観光協会、玉名温泉観光旅館協同組合等に対して補助金交付や人的な支援を行う。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ⇒ ① 玉名観光協会事業 ② 玉名温泉活性化事業 ③ 玉名観光ガイドの会事業 ④ 荒・玉地域サイン事業 ⑤ 着地型観光商品開発事業

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	100 %				7,026	
		県支出金	%					
		起債	%					
		受益者負担						
		その他						
		一般財源		12,607	15,403	16,942	15,808	
	【16】 小 計		12,607	15,403	16,942	22,834	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数		0.40	0.95	0.75	0.75	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424	
		【17】 小 計		2,244	5,153	4,068	4,068	
	合 計			14,851	20,556	21,010	26,902	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	3	3	3	4
② 玉名温泉活性化事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	18	15	15	15
③ 玉名観光ガイドの会事業	勉強会に参加したり、観光情報を提供する。	会議出席回数	回	12	12	12	12
④ 荒・玉地域サイン事業	補助金交付による案内板等整備	案内板設置及び修繕箇所	箇所	0	0	0	0
⑤ 着地型観光商品開発事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回			12	12

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 観光協会会員数	団体及び個人会員数	団体	40	40	50	55
			36	45	53	
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊者数	人	100,000	100,000	100,000	102,000
			102,152	103,176	100,742	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明	
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	観光客の増加に支障をきたす。	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。		
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。		
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。		玉名温泉活性化については、今後、九州看護福祉大学と連携した事業を検討する。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。		
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。		
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。		
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。		
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。		
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。		
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。		

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	海外からのインバウンドに対応するため、受け入れ態勢の拡充を図る。また、玉名温泉観光旅館協同組合、九州看護福祉大学、行政の産学官による連携を図るため、「美と健康」をテーマにした温泉と鍼灸を活用した事業を新規展開したい。
昨年からの見直し・改善状況【32】	海外からのインバウンドに対応するため、平成27年度は多言語音声ガイドサービスの導入と、合併以来、整備されていない外国語リーフレットとマップの作成に力を入れ、新たに受け入れ態勢整備の中のインバウンド事業として取り組んでいく。着地型観光商品については、二年目の取り組みとなるため観光プロモーション活動を中心に、玉名市商工会が主で行っている「旬たま」という着地型体験事業との連携も図っていきたい。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	県内外だけではなく、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた海外からの観光客の増加も図るため、市民・市民団体・観光関連事業所への支援を行う。	評価責任者 上野 伸一
------------------	--	----------------